

令和7年度 神奈川県立相模原高等学校 不祥事ゼロプログラム検証結果

検証結果 ○…達成できた △…一部達成できた ×…達成できていない

取組課題	目標	行動計画	評価
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底） 【必須事項】	常に公務員としての自覚、意識を高め、服務に係る諸規定等についての周知・徹底を図り、勤務時間の内外を問わず県民からの信頼を損なう不祥事の発生件数はゼロを目標とする。	i 神奈川県職員行動指針について、定期的に確認を促す。 ii コンプライアンス意識の醸成に係る不祥事防止会議や研修会を開催し意識の向上を図る。 iii 朝の打合せや不祥事防止研修等で不祥事にかかわる通知や記者発表等の情報を活用し、具体的な事例を通して勤務時間の内外を問わずルール遵守の徹底を図る。	○ ○ ○
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止 【必須事項】	ハラスメント行為について、職員が認識を共有し、良好な職場環境をつくる。職場内でのハラスメント行為の発生件数はゼロを目標とする。	i ハラスメント行為の防止を目的とした不祥事防止研修を実施し、ハラスメントに対する意識啓発を行う。 ii 教育実習受入時に教職員にハラスメント防止について啓発をするとともに、教育実習生にも注意喚起をする。	○ ○
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止【必須事項】	職員一人ひとりが生徒の人権を意識し、常に発言や行動に気を配ることで、生徒が安心して通える学校づくりを推進する。生徒へのわいせつ及びセクハラ行為の発生件数はゼロを目標とする。	i 生徒の連絡先の適正な取得・管理方法、生徒とのSNS使用の禁止、私物端末での生徒撮影禁止等について、引き続きルール遵守を徹底する。 ii 不祥事防止研修において、生徒指導等では必ず複数人で対応することなどを全教職員に伝える。 iii 生徒の人権に関する研修を行い、その中で何気ない言動で生徒が傷ついてしまうことを認識する機会を作る。	○ ○ ○
体罰、不適切な指導の防止 【必須事項（県立学校）】	体罰は違法行為であるのみならず、生徒の心身に深刻な悪影響を与え、教職員及び学校への信頼を失墜させる行為であることを共有し、不祥事を未然に防止する。体罰・不適切指導を行う教職員はゼロを目標とする。	i 部活動安全点検等を通じて、体罰・不適切指導について生徒アンケートを実施するとともに、不祥事防止研修において生徒への配慮に欠けた言動、暴言や体罰等が許されないことを職員間で確認する。 ii 校内相談窓口について生徒へ周知し、生徒が相談しやすい環境づくりを進める。	○ ○
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止【必須（県立学校）】	本校への信頼を失わぬよう、各種成績処理や書類発行業務に係るマニュアルや点検体制の整備を進め、所属職員全員に周知・徹底する。事務処理にかかる事故はゼロを目標とする。	i 事務処理に誤りがないよう、作業手順を確認し、複数人による相互チェックを徹底する。 ii 不祥事防止研修において、職員啓発資料等をもとに成績処理の事故防止について研修を行い、全職員に周知する。 iii 昨年度の反省をもとに成績処理、調査書発行、入学者選抜等に関するマニュアルを改善し、事故を起こさない体制を構築する。	○ ○ ○
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報と情報セキュリティ対策のルールの徹底を図り、流出や紛失を防止する。事故発生件数はゼロを目標とする。	i 不祥事防止研修で個人情報の管理及び情報セキュリティ対策について研修を実施し、個人情報管理を徹底する。 ii 定期試験前後にシュレッダー使用制限期間を設け、誤廃棄の事故を防止する。	○ ○
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	公務員としての自覚を持ち、交通法規遵守の徹底、酒酔い・酒気帯び運転の根絶を図る。交通事故・交通違反はゼロを目標とする。	i 不祥事防止研修会を実施し、職員啓発資料等を活用して事故・違反に対する意識を高める。 ii 特に飲酒運転及び二日酔い運転を、絶対にしない・させないことを徹底するため、定期的に注意喚起を行う。 iii 自転車乗車中の交通法規順守について意識を高める。	○ ○ ○
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体	風通しの良い職場づくりを進め、業務に関する情報が適切に共有され、業務が円滑に進む職場とする。業務執行体制	i 業務執行体制に係るヒヤリハット事例等を活用し、職員の意識の向上を図る。	○

制、業務協力体制)	に係る事故発生件数はゼロを目標とする。	ii 管理職が率先して日頃よりコミュニケーションを図り、人間関係が良好でお互いに意見を言いやすい、働きやすい職場づくりに努める。	○
財務事務等の適正執行	適切で公正な予算編成と会計基準に基づく会計事務等の適正な執行を行い、事故の発生を未然に防止する。不適切な会計処理はゼロを目標とする。	i 不祥事防止研修等で私費会計基準に基づく会計処理を共有し、事故防止を徹底する。 ii 「財務事務調査」の結果について、会計に係る課題及び事故防止策等を協議し、事故防止を徹底する。 iii 納品時のチェックを厳正に行う。	○ ○ ○

※ その他、「教育委員会リスク一覧」に示された「各所属のリスク対応策」のうち、神奈川県立相模原高等学校の業務に該当する項目について、必ず実施する。

令和7年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び令和8年度に取り組むべき課題（学校長意見）

- 不祥事防止会議を定期的開催し、不祥事防止研修の内容を検討して実施するとともに、様々な機会に朝の打合せ等で不祥事防止に係る注意喚起を行い職員の意識の啓発に努めた
- 不祥事防止研修では管理職だけでなく、総括教諭・教諭も研修講師を務めるなど、不祥事防止への取組を組織的に行い、不祥事を自分事ととらえられるような研修となるように努めた。
- 入学者選抜においては、令和7年度入学者選抜の業務を検証してマニュアルを改善し、業務を遂行した。
- 教員と生徒との適切な距離感を保つことや、生徒や保護者への言動については、常に人権意識を念頭に置くよう引き続き職員への意識啓発及び指導を推進していく。特に経験の浅い教員に対しては重点的に意識啓発を推進する。
- 本校から不祥事は決して出さないという強い決意で、今後も引き続き粘り強く風通しのよい職場づくりに取り組むとともに、ストレスが少なくなるような環境整備に努めていく。